

表1

創傷管理のためのTIGによる破傷風予防ガイド(CDC)

破傷風含有ワクチン接種回数			清潔で小さな傷		他のすべての汚染された傷	
			DTaP,Tdap,Td #	TIG \$	DTaP,Tdap,Td #	TIG \$
不明または3回未満			+	-	+	+
3回以上			- *1	-	- *2	-

#:7歳未満の小児はDTaPを推奨。7歳以上はTdapで、11歳以上でTdapが済んでいればTdを推奨する。

破傷風トキソイド含有容量が必要な時はTdapまたはTdを選択できる。

\$:HIV感染者または重度の免疫不全者で、傷口を汚染した場合は破傷風含有ワクチンの接種歴に関係なくTIGを接種する。

*1:破傷風含有ワクチンの最終予防接種から10年経過すれば(+)

*2:破傷風含有ワクチンの最終予防接種から5年経過すれば(+)

破傷風含有ワクチン:国産ではDTaP、DTaP-IPV、DT、輸入ではTdap、Td(国産DTとは別)

TIG:抗ヒト破傷風免疫グロブリン(国産ではテタガムP)